

第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一

対象学年	中2	教科	社会（歴史）	難易度	★★☆☆
単元	ヨーロッパ人との出会いと全国統一 — キリスト教世界とルネサンス —				
課題	中世ヨーロッパではなぜ、ルネサンスや宗教改革の動きが出てきたのでしょうか。その時代を生きていた人々の気持ちが考えながら、ルネサンス、宗教改革が起こった流れを説明してください。				
課題の説明	歴史を作っているのはその時代を生きた人であることは言うまでもありません。これまでに地理や歴史でならったキリスト教（カトリック）を信じている人々の気持ちになって、時代の流れを物語調に説明してみましょう。苦手な人は、流れは教科書の通りで良いので、「その時の人々は〇〇という気持ちだったと思う」という言葉を加えながらまとめてみよう！				

対象学年	中2	教科	社会（歴史）	難易度	★★☆☆
単元	ヨーロッパ人との出会いと全国統一 — ヨーロッパと外の世界 —				
課題	16世紀の地図（東京書籍歴史的分野102ページ）を見て、ヨーロッパの国々がこれだけの植民地を持つことができたきっかけは何であったかを説明してください。またその後、アフリカ大陸から多くの人々がアメリカ大陸に渡るようになった貿易について説明してください。				
課題の説明	ヨーロッパの国々が他の国より進んでいたというのは想像できると思います。この「進んでいる」というのはどういうことを指すのか、具体的に考えてみてください。また、貿易についての説明は、貿易をしているのは誰で何をどこからどこへ、がわかるように説明してみましょう。				

対象学年	中2	教科	社会（歴史）	難易度	★☆☆☆
単元	ヨーロッパ人との出会いと全国統一 — ヨーロッパと外の世界 —				
課題	16世紀の地図（東京書籍歴史的分野102ページ）を見て、南アメリカ大陸でブラジルは何語が公用語か予想してみよう！				
課題の説明	実は現在、各国で使われている言葉は歴史と関係をしている場合が多いんだ。ブラジルがどこの国に支配（植民地）されていたかを見ると、何語が使われているか想像できるよ。では、ブラジル以外の南アメリカの国々は何語を使っているのかな？				

対象学年	中2	教科	社会（歴史）	難易度	★★☆☆
単元	ヨーロッパ人との出会いと全国統一 — ヨーロッパ人との出会い —				
課題	戦国時代にはポルトガル人によってもたらされた、鉄砲とキリスト教が国内に広がっていったのはなぜだろう？				
課題の説明	戦国時代にはポルトガルから多くのものが伝わってきます。その中で、鉄砲とキリスト教はその後の日本を変える大きな力になりました。なぜ、鉄砲とキリスト教は日本に広まったのか（鉄砲とキリスト教に興味を持ち、求めたのか）、を考えてみよう。				
解決のヒント	そもそも、モノやコトが広がるにはその背景があるんだ。その時代がどのような時代で、人々がどんなことを考えていたかを想像することは大切だよ。				

対象学年	中2	教科	社会（歴史）	難易度	★★☆☆
単元	ヨーロッパ人との出会いと全国統一 — 織田信長・豊臣秀吉による統一事業 —				
課題	織田信長と豊臣秀吉がそれぞれ活躍した時代の状況を想像しながら、織田信長がキリスト教を優遇し、豊臣秀吉がキリスト教を禁止した理由を説明してみよう！				
課題の説明	織田信長が本能寺で自害したのち、豊臣秀吉が天下を統一していきますが、その少しの期間でも日本と日本の周りの状況は変化していきます。2人がキリスト教をどのように考え、国を治めていくのに使おうとしたかを考えてみましょう。				
解決のヒント	2人がキリスト教を優遇したり禁止したりした理由は、好き嫌いの問題だけじゃないよね？どんな変化があったんだろう？				

対象学年	中2	教科	社会（歴史）	難易度	★★☆☆
単元	ヨーロッパ人との出会いと全国統一 — 兵農分離と朝鮮侵略 —				
課題	豊臣秀吉はどのような国づくりを進めていこうとしたのか、内政（国内の政治）と外交（外国との関係）の両面から説明してみよう！				
課題の説明	検地や刀狩、海外貿易や朝鮮侵略を通して、豊臣秀吉は日本をどんな国にしようとしたんでしょう？				
解決のヒント	それぞれの政策（政治として行うこと）にはなぜするのか、という意味があります。それぞれの政策に意味を考えて、全て合わせた時にどんな国を作れるのか、を想像してみてください。				

対象学年	中2	教科	社会（歴史）	難易度	★★☆☆
単元	ヨーロッパ人との出会いと全国統一 — 桃山文化 —				
課題	桃山文化は雄大で豪華絢爛な社会の活気を反映させた文化だと言われています。一方で、千利休などはわび茶の作法を完成させるなど、内面の精神性を重視しています。この時代にこのような真逆とも思える文化が出来上がってきた理由を考えてみよう！				
課題の説明	この課題には答えはありません。資料集等で桃山文化の芸術作品や当時の生活の様子を調べて、そのような豪華絢爛な世界と、茶道のような自分の内面を見つめるような世界を比べて、その両方を求める理由を考えてみてください。				

対象学年	中2	教科	社会（歴史）	難易度	★★★☆☆
単元	ヨーロッパ人との出会いと全国統一				
課題	中世から16世紀頃までのヨーロッパの変化は、日本の社会をどのように変えたのだろうか				
課題の説明	<p>ヨーロッパの人々が日本にもたらしたものの代表としてキリスト教と鉄砲は小学校でも習ったかと思います。ヨーロッパのものや人、考え方が入ってきたことによって、日本人はどのように変わったかと思いませんか？</p> <p>実際、当時の日本人にとってヨーロッパの人々はどのように映っていて、どう感じていたのでしょうか。また、ヨーロッパ人や国とどのような関係をしようと考えたのでしょうか。これまでに学んだことを振り返って、理由も含めて考えてみましょう。</p>				
解決のヒント	日本人と言っても色々な立場の人がいます。どの立場の人のことを想像するかを決めて、具体的に考えてみると色々な見方ができると思えますよ。				

対象学年	中2	教科	社会（歴史）	難易度	★★★★
単元	ヨーロッパ人との出会いと全国統一				
課題	現代の日本を考えると、海外のどのようなモノやコトをどのように取り入れれば社会は良くなると思いますか？室町時代から安土桃山時代の社会とその変化を参考にして、提案してください。				
課題の説明	<p>社会や生活を良くするためには、自分の社会や生活にない新しいものを取り入れることも必要ですね。でも、新しいものを取り入れるには古いものを手放すことも必要な時や、場合によってはマイナスの効果がある時もあります。この単元で習ったことを参考にして、今の日本に取り入れれば良いと考えるモノやコトを紹介してください。その時は、取り入れるメリットと共に、デメリットも想定してみましょう。また、あなたの生活レベルか、地域レベルか、国レベル、色々な範囲で考えられますね。自分の考えを一番表せるものに絞ってアピールしてみよう！</p>				